

東アジア主要都市の比較

は、大阪が優位となる事項

		大阪 (咲洲地区)	ソウル (三成地区)	上海 (龍陽路地区)	シンガポール (チャンギ地区)	
シンボル性	超高層ビル	WTCビル (256m)	WTCビル (228m)	なし	なし	
	コンベンション施設	名称	インテックス大阪	COEX	上海新国際博覧展中心	シンガポールEXPO
		設立	1985年	2000年	2001年	2000年
		面積	7.3万㎡	3.5万㎡	12.6万㎡	10.0万㎡
	施設	国際展示場	国際展示場、国際会議場(カジノ、高級モール等でComplexを形成)	国際展示場	国際展示場、国際会議場、宴会場	
アクセス性	都心	大阪駅から10km 地下鉄等20分	ソウル駅から11km 地下鉄35分	人民広場駅から12km 地下鉄20分	シイェル駅から15km MRT25分	
	空港	28km バス50分	46km バス70分	25km リニア8分	隣接 (MRT5分)	
	港湾	隣接(阪神港)	約40km(仁川港)	約20km(外高橋港)	約20km(シンガポール港)	

咲洲・夢洲地区のポテンシャル

新たな発展の可能性の高さ(広大な未利用地(約77ha)など)
 咲洲地区と夢洲地区の当面可能な用地の合計
 インテックス大阪(7.3万㎡)等の既存の
 国際展示商談施設の立地
 産業・研究施設の立地(新エネルギー産業の集積の可能性等)
 関空(28km、バス50分)、スーパー中樞
 港湾(阪神港)等からの良好なアクセス
 東部大阪をはじめ、府内外との広域的な
 道路ネットワーク(物流の結節点)
 都市再生緊急整備地域の位置付け
 (コスモスクエア地区)

ポテンシャルを活かし

「(仮称)夢洲・咲洲地区まちづくり推進協議会

【趣旨】

夢洲・咲洲地区の将来像について、過去の轍を踏まないよう、大阪市、大阪府並びに経済界が一丸となって、将来を見据えた幅広い視点から検討し、両地区の活性化に向けて、不退転の決意で取り組んでいくために、「(仮称)夢洲・咲洲地区まちづくり推進協議会」を設置する。

【構成メンバー】

大阪市、大阪府、経済3団体

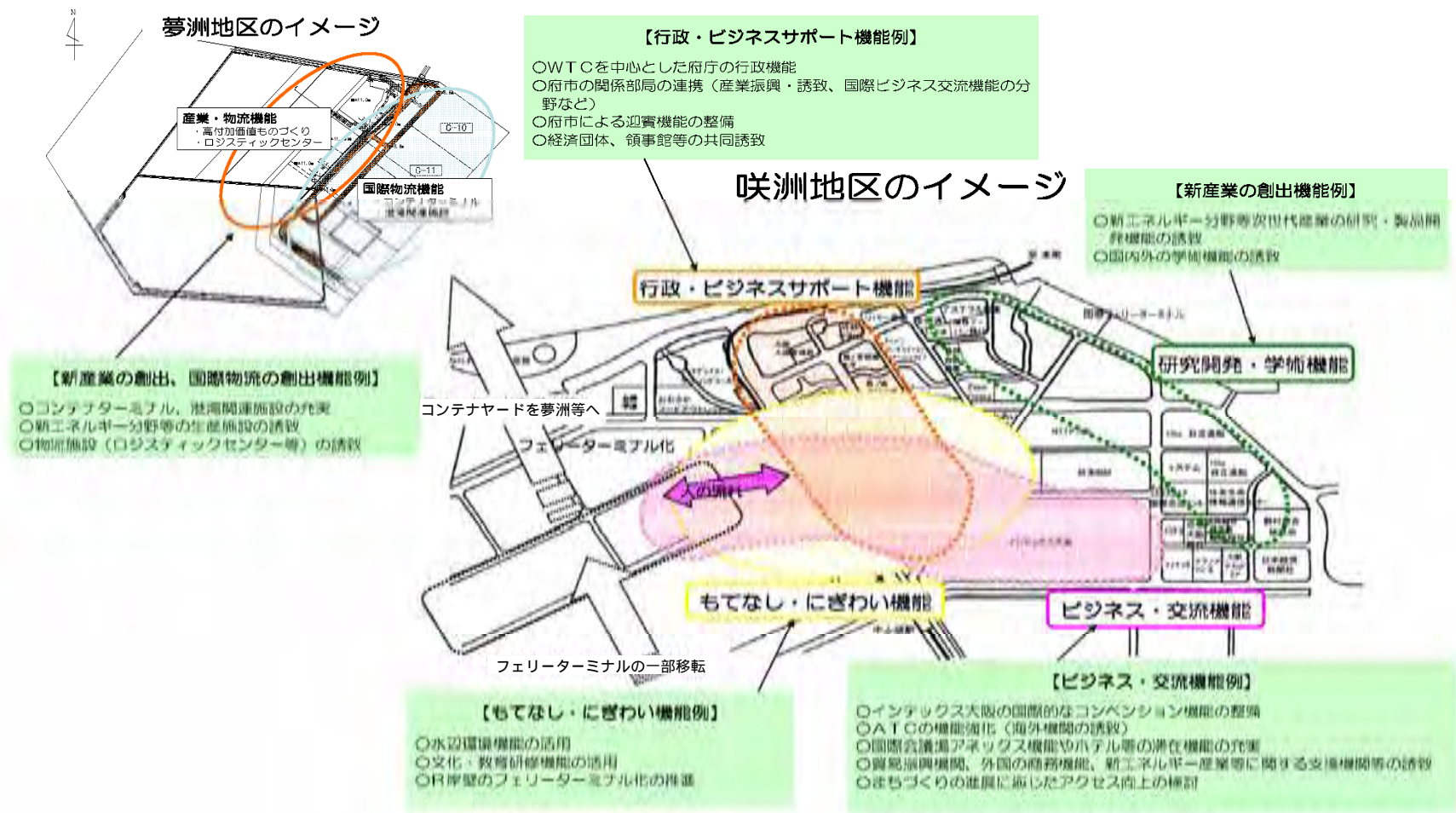
【スケジュール】

9月上旬 第1回推進協議会

《大阪府から大阪市への要請事項(咲洲まちづくり関係)》
 コスモスクエアへの市の投資計画の明確化及び前倒し実施
 コスモスクエアへのアクセス改善

(参考)想定される検討事項例

コンベンション機能の強化
 新エネルギー産業等の振興
 企業等の誘致体制の充実
 特区の設定や優遇税制度の創設
 交通インフラの強化



【咲洲・夢洲地区におけるまちづくりのコンセプトと機能の案】

コンセプト
 世界の人とモノ、情報が行き交い、政治・行政のダイナミズムと新たな産業が生まれる広域関西の戦略拠点

機能等

- 行政、ビジネスサポート機能の強化
 - ・広域的な行政機関の設置や迎賓機能を向上
- ビジネス・交流の拠点
 - ・ものづくり産業などアジアにつなぐコンベンション・見本市等のビジネス・交流の拠点を形成
- 世界をリードする次世代産業・技術の集積拠点
 - ・新エネルギー等の世界をリードする産業、技術が集積し、大阪・関西圏を牽引する次世代産業分野の拠点を形成
 - ・広域インフラ(空港、港湾、高速道路ネットワークなど)を活かし、成長著しいアジアとの交流・交易拠点を形成
- アジア等の世界へ向けた拠点
 - ・アジアなど世界との交流拠点としてのもてなし・にぎわい機能の向上